

第7・8講 アジア・アフリカの植民地化と東アジアの激動

設問1：次の4つの資料を読んで、あとの問いに答えなさい。

あ 大反乱を鎮圧した後、A国首相は、A国女王をインド皇帝にし、ムガル皇帝の権威を受け継がせた。

い アジアの独立国家として最初の憲法は自由主義の理念を持っていたが、Bにより憲法は凍結された。

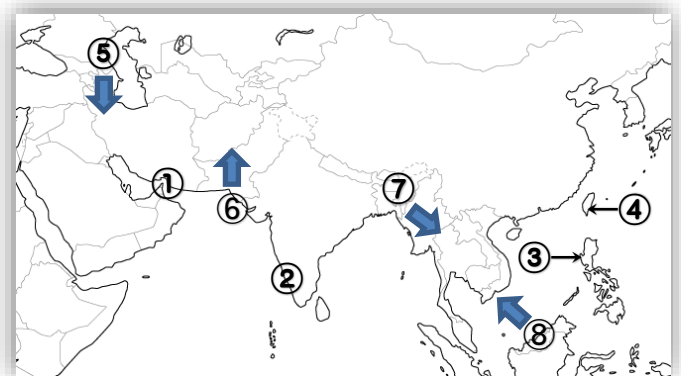
う C国政府は、従来の米作地に指定した商品作物を栽培させ、安価で買い上げる強制栽培制度を実施した。

え D国では、ある商品の独占販売権に対する反対運動が起こったが、のちの立憲革命へとつながった。

- ①(あ)の首相の業績と皇帝名の組み合わせとして、正しい組み合わせのモノを1つ選びなさい。
- ①スエズ運河会社株を買収・エリザベス女王 ②アイルランド土地法の成立・エリザベス女王
 ③穀物法の廃止・エリザベス女王 ④スエズ運河会社の株買収・ヴィクトリア女王
 ⑤アイルランド土地法の成立・ヴィクトリア女王 ⑥穀物法の廃止・ヴィクトリア女王

- ②(い)のBには、この時のスルタンのことを示している。このスルタンの考えに最も近いものを1つ選びなさい。

- ①帝国臣民の法の下での平等と西欧近代化
 ②トルコ民族主義に基づく共和政
 ③パン＝イスラーム主義に基づく専制政治
 ④ムスリムと非ムスリムの共存・協力

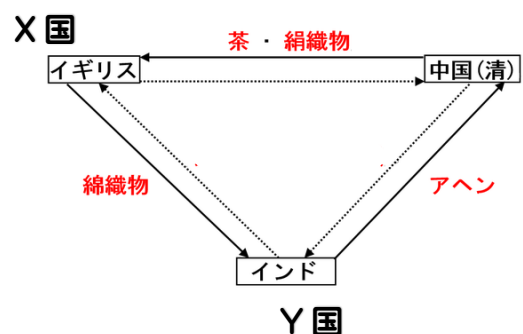
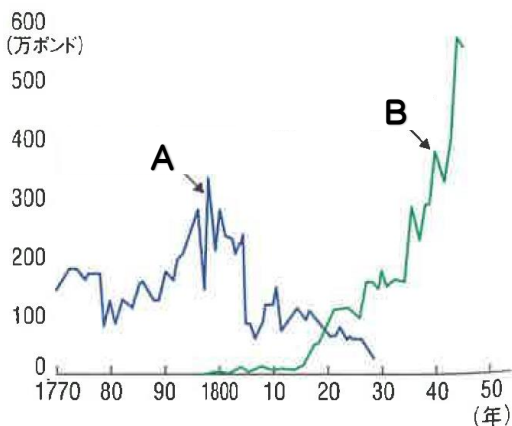


- ③Cの国が植民活動をした地域・都市を地図の①～④より1つ選びなさい。

- ④Dの国は19世紀はじめに列強の圧迫を受けた。その圧迫の矢印⑤～⑧より選び、また「ある商品」の名前との組み合わせとして正しいものを1つ選びなさい。

- ⑤-タバコ ⑥-綿花 ⑦-タバコ ⑧-綿花

設問2：下のX国とY国のグラフとアジア三角貿易の図を見て後の問いに答えなさい。



⑤ グラフに示されたAとBはX国とY国間の綿製品の輸出入額の変化を示したものです。

このグラフから読み取れる正しい文を1つ選びなさい。

- ① インド大反乱がきっかけとなり、Aが減少し、Bが増加した
- ② インドで起きた産業革命がきっかけとなり、Bが増加した。
- ③ イギリスで綿製品を生産するようになったため、Aは減少した。
- ④ アジア三角貿易に示された「綿織物」はAのことを示している。

設問3：A～Dの史料は近現代中国と朝鮮の歴史に関わるものをAから年代順に並べたものです。

A



B



C



D

條約第四條
日本國皇帝陛下及韓國皇帝陛下ハ兩國
間ノ特殊ニシテ親密ナル關係ヲ觀ヒ相
互ノ幸福ヲ増進シ東洋ノ平和ヲ永久ニ
確保セムコトヲ欲シ此ノ目的ヲ達スル
爲ニハ韓國ヲ日本帝國ニ併合スルニ
如カサルコトヲ確信シ茲ニ兩國間ニ併
合條約ヲ締結スルコトニ決シ之ニ爲リ
日本國皇帝陛下ハ統監于蔚奇内正毅ヲ韓
國皇帝陛下ハ内閣總理大臣李完用ヲ各
具ハ全權委員ニ任命セリ因テ右全權委
員ハ會同協議ノ上左ノ諸條ヲ協定セリ
第一條
韓國皇帝陛下ハ韓國全土ニ關スル一切
ノ統治權ヲ完全且永久ニ日本國皇帝陛
下ニ讓與ス
第二條
日本國皇帝陛下ハ前條ニ掲ケタル讓與
ヲ受諾シ且全然韓國ヲ日本帝國ニ併合
スルコトヲ承諾ス

⑥ 下に挙げる条約の内容とA～Cとの組み合わせが正しいものをすべてあげなさい。

- A = 5港が開港され、台湾が割譲された
- B = 列強の北京駐屯権が認められた
- C = 清王朝は朝鮮の宗主権を失った

⑦ Dは1910年に締結された条約の内容である。

この時の朝鮮半島の様子として正しいものを1つ選べ

- ① 甲午農民戦争が起きた
- ② 朝鮮総督府が武断政治を開始した
- ③ 鎖国政策を取った朝鮮王朝が開国した
- ④ 反日義兵闘争は完全に鎮静化された



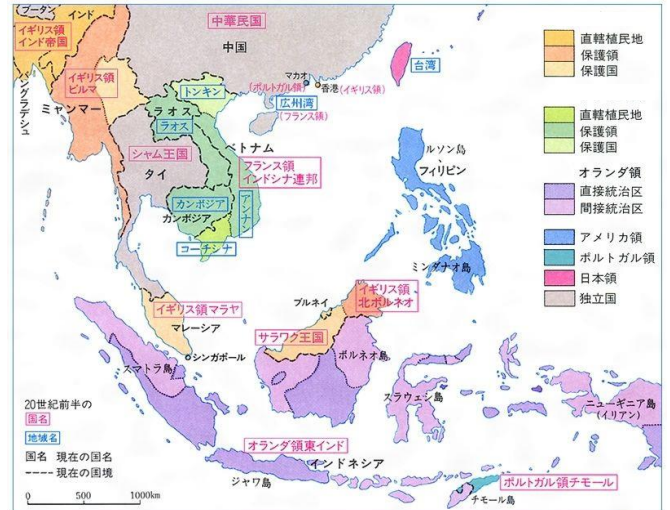
⑧ 右の「中国分割」の地図は、AとBの出来事の間に行われたものである。

地図中のいとえの国名とこの「中国分割」と同時期に起きたものの正しい組み合わせを選べ。

- ① い：ドイツ え：日本 「滅満興漢」がスローガンとして掲げられた
- ② い：イギリス え：フランス 洋務派漢人官僚による西洋近代化が行われた
- ③ い：ドイツ え：フランス 明治維新を範とした立憲君主政を目指す改革が行われた
- ④ い：イギリス え：日本 「扶清滅洋」がスローガンとして掲げられた

設問4：先生がこの地図に関する問題を生徒に作らせようとしたとき、生徒が先生に質問した内容として適切なものを1つ選びなさい。

- ① オレンジと緑の列強はイランでも対立していましたのね。
- ② オレンジと紫はマレー半島とスマトラ島を分割統治したと考えてよいですね。
- ③ 青の列強がその地域を占領したことにファン=ボイ=チャウが対抗したんでしたね。
- ④ タイは最後まで列強には植民地化されていないと考えていいですね。



設問5：右のアフリカ分割に関する文章の内容としてそれぞれの文章に登場する国家が正しいものすべてを選びなさい。国名は頭文字で表している。

- ① 南ア戦争はBRとFが起こしたせんそうである。
- ② ロンドン会議でBEとPとGの支配地が決まった。
- ③ BRの宣教師リヴィングストンがアフリカを探検した。
- ④ FとGがモロッコで、FとIがリビアを取り合った。
- ⑤ スーダンを征服したBRはその後Fと衝突した。
- ⑥ Fはアルジェリアからアフリカ縦断政策をとった。
- ⑦ エチオピアとギニアは独立を維持した。

